

(1) 研究の概要

① 研修委員会の運営改善

ア. 研修日の内容の明確化

- 研修主任と綿密な事前打ち合わせを行い、研修日の日程と内容を具体化し月行事表の中に明記した。
- 研修委員会の位置付けを明確にし、協議内容も焦点化するようにした。

イ. 授業研究会の進め方の改善

授業研究会の進め方について学年ブロック共通の基本線を出し、焦点化した話し合いが進められるようにした。

（事例省略）

- 話し合いの中心を授業者の授業意図（指導観・個人テーマ）に絞った。
- 事後研究会では「3. 成果と課題」という協議題をおこし、授業の成果を明らかにするとともに、次回の授業研究に課題を引き継ぎ、解決の方策が立てられるようにした。また、このための記録用紙も作成した。

ウ. 各学年ブロックの研究推進状況の把握と共有化 （事例省略）

- 学年ブロックの事前・事後研究の記録を研修主任のもとへ集約する。
- 事後研究会において、「授業研究の成果と課題」を明らかにし、所定の用紙に記録して研修主任に提出する。
- 他の学年ブロックの授業を参観した場合は、所定の「一言感想」用紙に書き、研修主任を通して授業者及び学年ブロック会に提出し事後研究会の一資料とする。

② 月行事表の工夫・改善

＜工夫・改善＞

先生方が毎日のように目を通す月行事表の中に『現職教育等』の欄を特設し、他の諸行事・会合等との関連を図りながら校内研究の日程・内容を計画し記入することによって一覧できるようにした。

【改善前】

「9」月 行事表 授業日数 23日

日	曜	社会的行事	児童関係・特別活動等	教師会合等	校外会合等
1	日	二百十日			
2	月		朝の会 生徒指導強化週間	打合せ・ブロック	
3	火		避難訓練	研修日	
4	水		学、活		県中職園いむき大会



- ◆ ほぼ定期的に毎週火曜日に「研修日」を位置付けてはいるが、これだけでは次の点が不明確である。
 - ・何を行うのか（内容）
 - ・ブロック会とのつながりはどうか（関連）
 - ・前後の「研修日」とのつながりはどうか（関連）

【改善後】

平成3年度 9月行事・日課予定表 (授業日数 23日)

日	曜	日直	学校行事等	教師会合等	現職教育等	校外会合等
1	日					
2	月	3	朝の会 生徒指導強化週間	打合せ・ブロック		
3	火	4	避難訓練	研修日		
4	水	5	学、活			県中職園いむき大会

* □部分は新たに欄を設けた。

『現職教育等』の欄は、実際は次のようにした。

現 職 教 育 等	
教師会合等	学校訪問関係 ○学年ブロック★研修委員会◇一般研修
打合せ・ブロック	授業案検討週間 ○指定授業案検討②
研修日	↓
	◇園工実技研修会 2:00~4:30
	↓
	◇個人研修（授業参観の授業）
	↓
	要項印刷完了 ○低学年授業研究・事後研究会（1の1）
研修日	環境整備週間 ★学校訪問時の話し合いの進め方
	↓